

Q	A
他校ではできていて、黒内小ではできていないことの具体例を教えてください。	人数が多いことによる児童への影響は次のようなことがあります。 ①人数が多いため、空き教室がない。 ②他校では、休み時間は制限なく一斉に外で遊べるが、黒内小では3つのグループに分けて時間差で休み時間をとっている。 ③朝顔を一人一鉢置くスペースがないため、黒内小ではグループで1鉢となっている。
クラブ活動への影響はあるのか。人数が多すぎてできない活動はあるか。	体育館・グラウンドを使うクラブは、ローテーションになっています。また、雨天時などは、他の学校より体育館が使えないことが多い状況です。
アンケート結果が、1年生以上なら賛成が割合的には半分以上いる。このアンケート結果を受け、どのような提案をしているのか。 来年1年生の子たちから自由に学校を選択できるという制度なのか、在生学生も含めて希望する人は違う学校に行って良いということなのかかわからない。	今回の案は、原則令和7年4月に1年生となる児童が対象となっています。原則1年生にした理由は、在校生を動かすのは子どもたちにとって酷だという意見を多くいただいたためです。 しかし、在校生の方で、黒内小の現状に不安を感じている方もいるので、希望すれば在校生でも移動することはできます。
北園交差点が危ないと言っているが、市は優先順位を高く上げて問題解決に取り組もうとしているのか。新守谷のように立体交差化するなど、いろいろなことを踏まえて安全対策を検討するべきだと思う。 話を聞いていると、通学ルートで子どもたちを遠回りにし、子どもたちに苦勞させれば安全なのではないかと聞こえる。市として安全対策をするのであれば、踏切改良も含めて全部綺麗に通学路を整備すれば良いのではないか。	過去には、県に歩道橋の要望をしましたが、県では、朝夕は児童の利用が多くても、日中の利用が少ない状況であると建設は難しいということで実現していません。 このため、通学補助員の配置や歩道の拡幅等での対応をしてきましたが、これ以上人数が増えると安全の担保が難しくなってくるため、迂回ルート等を検討していきたいと考えています。
時限的に児童数が減るとわかっているのであれば、中学校もスクールバスを出していいのではないか。	中学校の通学距離の目安は6km以内となっています。松並青葉地区からはどの中学校も5km圏内ですので、現時点ではスクールバスによる通学は考えていません。 ただし、通学路が危ないので考えてほしいというご意見は多いため、安全ルートの確認や危険箇所の整備について、学校、地域、道路管理担当部署等と協議して検討していきます。

距離が遠くても安全な道の確保や街灯が多い、変質者が出ないなど、いろいろな状況が整えば聞いている人たちも変わってくると思うので、引き続き安全を考えていってほしい。	対応していきます。
アンケート結果において、581件の回答の属性を見ると、在校生の保護者が基本的に答えているが、令和7年に第1子が小学校に入学する保護者の意見も反映されているのか。	未就学児を含めたお子さんがいる世帯だけでの集計も行っていますが、ほぼ同じ結果となっています。 賛成（1年生）：32.6% 賛成（1～5年生）：17.4% 賛成（1・2年生）：8.7% 反対：33.6%
定員超過の場合は抽選とあるが、定員はどれくらいか。	定員は説明資料の23頁にある、受入人数見込みとなっていますが、これは現時点での想定人数であるため、もう少し増やしていけるように考えています。
R6年4月の時点で、7年度からのスクールバスを見越して学校選択を行い、保護者が送迎する場合、2年生（R7年）でスクールバス利用が抽選となるのは困る。R7年分からの抽選で漏れた場合、ずっと家庭で送迎となるのか。 上の子が先にスクールバスで通っている場合は、下の子は優先して抽選をしてもらえるのか。別の学校に通うことになる可能性はあるか。	きょうだいは同じ学校に通う方が良いと考えていますので、優先枠などを設定し、下の子も同じ学校に行けるようにしていきます。
帰りの便は1便とあるが、2年生に学年が上がった場合どうなるのか。 また、遠足等の学校行事にもバスは対応するのか。	資料では1年生のみの時間割しか記載していませんが、学年により時間割は異なるので、1年生以外の学年がいる場合は、その時間割に合わせて便数も増えることになります。 学校行事にも対応いたします。
きょうだいが既に通っている場合、下の子の学校選択について、定員内での「優先枠」と言うが、希望者が多い場合はきょうだいがいっても優先枠から漏れてしまうのではないかと不安である。きょうだいがいる場合は確保すると断言していただければスクールバス通学が十分選択肢になる。	下の子の通学については、確実に対応します。
変更後は、黒内小の現在の状況（朝顔、休み時間のグラウンド利用など）はどれくらい解消されるのか。	朝顔が一人一鉢になるための人数については、グループに一鉢の方が効率的で良いという判断になるかもしれませんが、明確には答えられません。 グラウンド利用については、800～900名であれば一斉に遊んでも問題はないと思いますが、

	人数が少なければ少ない程、安全は確保できることとなります。
抽選で漏れた場合は黒内小になるのか、他の小学校になるのか。	第一～第三希望まで受け付けることで、できる限り希望の学校に行けるよう調整することを考えています。
R6年に他の小学校へ行き家庭で送迎し、R7年からスクールバスを利用することも考えられるが、2年生になって定員超過でスクールバスに乗れないという心配がある。	今回お示ししている枠は1年生のみの枠であり、2年生以上の枠は別にあるので、確実にバスを利用できるように考えています。
雪や台風などの悪天候時にもスクールバスは運行するのか。	遅れて登校となる場合などが想定されますが、その際はスクールバスの時間も遅らせて対応していきます。
スクールバスを使うことで、悪天候時にそもそもの登校が難しくなることはあるか。	先日の雪くらいであればスクールバスを走らせることはできると考えています。警報級であれば、学校自体が休校となります。
商業施設の駐車場をバスの乗降場所に利用する場合、帰りの時間帯について商業施設利用者との兼ね合いは大丈夫か。 メールは見ないのでプッシュ通知が良い。	商業施設の駐車場は朝のみの利用で、帰りはモコバス停留所の利用を考えていますので、商業施設利用者への問題はないと思います。 また、停留所へのスクールバス到着時刻をメール配信できるようなシステムの導入を検討しています。
想定より黒内小を選ぶ人が多い場合のプランは考えているのか。学区そのものを強制的に他の学校に変えるという可能性はあるのか。	黒内小学校を選ぶ人が多い場合は、プレハブの規格を大きめにして、教室数を確保していくことを考えています。 しかし、この場合はグラウンドの密状態などは解決できないので、徒歩圏の通学区域の変更について、時間を掛けて協議していく必要があると考えています。
御所ヶ丘小と郷州小どちらに行ったら良いのかわからない。 子どもが楽しめるそれぞれの学校のイベントを教えてください。	御所ヶ丘小では、田植えや稲刈り、地域とのお祭りを行っています。郷州小はみずき野地区とのお祭りがあるようです。 また、2校ともアクティブラーニング室を整備し、御所ヶ丘小では英語の教室、郷州小ではプログラミングの教室として、子どもたちが自由に動き回って学習できるようになる予定です。 英語は本来小学3年生からだが、守谷市では文部科学省に特別な申請をし、全小学校で1、2年生

	から週1回英語を学習しています。このような状況なので、アクティブラーニング室で例えば姉妹都市とつながって学習することもできると思います。プログラミング教育では、企業コラボやロボットを活用し、ものごとを解決するときに筋道を立てて解決していく能力を育てる勉強をしています。 今週中に各学校の学校行事等を端的にまとめたものを市ホームページに載せていきます。
北園交差点の混雑について、歩道橋の設置は困難とのことだが、関鉄からレーベンのあたりまでの地下通路はできないか。 地下通路によって近くの商業施設に自転車で行きやすいなどのメリットもある。	地下通路は協議したことがなかったので、県と協議してみます。
スクールバスに乗り遅れた場合、保護者責任による送迎となるが、ガソリン代の補助はないか。	ガソリンの補助という形ではなく、モコバスがあるので時間を調整できるか担当部署と協議していきます。モコバスが使える場合は、無償で利用できるようにしたいと考えています。
「アクティブラーニングをやります」の一言では想像がつかない。各学校の特典や魅力をもっと具体的に提示してほしい。 学校行事の内容ややり方を知りたい。	今週中に各学校の学校行事等をまとめたものを市ホームページに載せていきます。
中学生になると、今の北園交差点の混雑が自転車で混雑することを考えると恐ろしいので、中学校をどうするのか、早い段階で見通しをたてて公表してほしい。	現在、守谷中学校の生徒は、北園交差点で渡らずに、守谷駅のライオンズマンション近くの信号で渡るようになっていきます。今後も通学路については安全性の協議を続けていきます。
中学校は本当に選べるのか。守谷中に行けるのか。行けると簡単に言っているのか。	令和4年度に増築工事を行っていますが、生徒数がそれよりも多くなるようであれば、プール跡地に増築する可能性も考えられます。 すぐには建てられないので、生徒数の推計をしっかりと行って対応していきます。
愛宕中に通う場合、郵便局の前の細い道に行くのは危ない。松並青葉地区の生徒があそこを使うとなると、危ないので不安である。	郵便局前の通りは車道を走るようになっていて、教育委員会も危険と判断しています。通学ルートは、地域の皆様や学校と相談しながら、安全なルートを検討していきます。

来年度の就学校変更申立人数の見込みを知りたい。	令和6年度から開始する就学校変更の申立については、(判断材料となる)学校の情報を出せていなかったため、8名のみという状況です。
2年生以上もスクールバス通学が可能とあるが、受入人数の上限が少ないと思う。	資料でお示している受入れ人数上限は、1年生の枠のみであり、上級生は別に受入の枠があります。また、上限人数については、学校全体で各学年の学級数のバランスから設定しています。各学年で1～2クラス程度増やす想定の人数となっています。
黒内小にもスクールバスを出せば北園交差点は安全になるのではないかと。 歩道橋や地下通路は現実的ではなく危ない。	1番安全ではあるが、黒内小の児童数が多く、バスで交差点が混雑する可能性もあるため、難しいと思います。
選択制になったということで黒内小を選択した場合、プレハブ対応で確実に黒内小に入れるのか。 他の学校へ行く希望者が少ない場合、強制的に他の学校へ行くことはあるのか。	希望者が少ないことは避けたいので、できるだけご協力いただきたいと思います。 少なかった場合は、教室が足りなくならないようにプレハブ設置で対応していきます。
学校見学会では、親だけではなく、子ども相手に何かしていただけたら、子どもが見て自分で決めやすいし、親も後押ししやすい。	見学会は、子どもたちも来られるようなスケジュールで設定していきます。 学校が、子ども向けの説明に対応できるかどうかは学校次第のため、本日は回答できません。 また、子どもが見て学校生活のイメージがわくような、黒内小、守谷小、御所ヶ丘小、郷州小、松ヶ丘小の動画を製作しており、4月中に公開する予定です。
児童が多く先生の数に足りないだろうが、それにより児童一人一人に対して目が行き届かない、質問ができない、いじめやSOSに気付けない、トイレが足りない、という問題が出てくる。 施設の人的補充について今の段階で想定はしているのか。	児童数に応じた先生の手数は国で決まっています。また、県独自の加配制度があり、先生を基準より多く配置できています。さらに、守谷市は独自で学習支援ティーチャーと介護補助員を付けています。他にも、音楽、図工、理科は教科専科の先生を配置し、専門の先生が教えている状況で、できる限り目が行き届くようにしています。 いじめについては、些細なことでもいじめとして認知し、対応していますが、相談したくてもできないこともあると思いますので、一人1台のタブレットで、いつでも相談できるように対応しています。このほか、月1回のアンケートも実施して

	います。 トイレは、基準に基づいた数を設置しており、環境面はきれいに整えています。トイレが足りないということは聞いたことがありませんでしたので、学校に確認します。
そのような施策が十分に取られていても足りていない状況だと思っている。 プラスαの先生の人数は足りているのか不安である。	先生はいればいるほどありがたいというのが現場の本音です。教員の増員については、引き続き県に強く要望していきます。
地震が多いことが気になる。 大型地震が起きたときの避難先は黒内小だと思うが、通学先が変わった場合はどうなるか。 親と子がバラバラの避難所になりかねないが、対策はあるのか。	避難所は行政区で決まるため、どこの学校に通学したとしても避難先は黒内小になります。 在校中に災害が発生したケースに備え、引き渡し訓練や、バスで迎えに行くなど様々な方法を検討していきます。
大型地震発生など緊急時を考えた際、今の児童数は適切なのか。それを考えているのか。	地震が起きた場合は、机の下に隠れた後、落ち着いたら校庭に集まるという流れになっていますが、児童数が多いため、校庭の余裕はそれほどない状況です。
スクールバス1便1台だろうが、6年間通うことを期待する。6年間の間に対象者推計値が600人を超えるが、バス台数がかなり必要になると思うが、どのような見込みなのか。	人数に応じてバスを確保します。
学校説明会、見学会参加の対象は令和7年度入学生のみか。	令和7年度入学生が主な対象ではあるが、その他の未就学児の方も来ていただける方向で進めています。
小学校を決めるにあたり、中学の情報も必要である。各中学校の高校進学実績や部活動の情報も出してほしい。	まずは小学校の情報発信となりますが、中学の情報を発信する際には、部活動の情報なども開示していきます。
公立なのになぜ学校ごとに英語やプログラミングの特色を出すのか。	守谷では、どの学校でも同じ教育を受けられることは間違いありません。 アクティブラーニング室での英語やプログラミングは、プラスαの活動という位置づけで、学校行事や総合学習のように、学校独自の活動に該当します。
中学校へ通う際、雨の日などは危ない。モコバスの朝夕の便を増やしてモコバスで通えるようにしてほしい。 モコバスを利用すれば自転車利用者も減り、より	モコバスの要望は、ほかにもいただいている状況ですので、担当部署と協議して検討していきます。

安全に通学できると思う。	
スケジュールについて。3月中旬には案1か案2のどちらかに決まるのか。	令和7年度対策については、3つすべての案について、実施するかしないかというものであり、どれか1つのみになることはありません。
スクールバスの送迎に伴うリスクを検討していると思うが、それぞれのプロセスの中でどのようなリスクがあると想定しているか。そのリスクにどう対応するのか、分析過程を教えてほしい。 教えてもらえたらスクールバスで通学しても良いと確信がもてる。	次のようなリスクと対応策を考えています。 ・バス停留所でバスを待っている際に熱中症などのリスクがあるため、商業施設の駐車場を確保する。 ・乗り遅れを防ぐため、乗る児童リストを学校、添乗員、教育委員会で情報共有するとともに、点呼を行う。 ・バス車内置き去りを防ぐため、置き去り防止システムを確実に設置する。 ・児童のバス酔いや体調不良対策として、添乗員による目配りを行う。 ・帰りに間違えたバス停で降りないように添乗員が確認する。 ・学校で帰りのバスに乗るときの乗り間違いや忘れを防ぐため、学校と連携をとり、きちんと確認し対応する。 ・地震発生時などの対応として、防災対応マニュアルを決める。
学校選択の変更時期、回数は定めがあるのか。年度ごとか。例えば親の仕事の都合で学校を変更したい場合は年度の途中でも融通がきくのか。また、変更したものの、やっぱり他の学校に行きたい、ということも可能か。	就学校変更申立という制度がもともとありますので、今回の選択制度においても、選択した先の学校が子どもに合わない場合などには、就学校変更申立という形で対応できます。
年度途中で変更したい場合、入学時は抽選とのがだが、どうなるのか。	学校のクラスは、1クラス35人までという定めがあるため、年度当初の入学・通学先変更では、学級数を確定するために、事前に定員を設けていますが、年度途中の人数増でクラスが増えることはありません。このため、年度途中の変更希望は抽選なしで受入れることができますし、場合により36人学級ができる可能性もあります。